

2025 年 12 月期第 2 四半期決算概要

会社名 : クラレトレーディング株式会社
 代表者 : (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 武司
 問合せ先責任者 : (役職名) 人事・総務部長 (氏名) 尾古 雅章
 : (TEL) (06) 7635-1624

(百万円未満切捨て)

1. 2025 年 12 月期第 2 四半期の連結業績 (2025 年 1 月 1 日～2025 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

	当第2四半期累計期間 (2025年1月～2025年6月)		前第2四半期累計期間 (2024年1月～2024年6月)		増 減	
	金額	取扱高利益率	金額	取扱高利益率	増減額	増減率
取 扱 高 ※	79,934	－	78,264	－	+1,669	+2.1%
売上収益 ※	33,908	－	32,233	－	+1,674	+5.2%
営業利益	3,042	3.8%	2,743	3.5%	+298	+10.9%
経常利益	3,327	4.2%	2,789	3.6%	+538	+19.3%
四半期純利益	2,302	2.9%	1,935	2.5%	+367	+19.0%

(注)・当社の連結子会社は、可樂麗貿易（上海）有限公司、クラレトレーディングベトナムの 2 社となっています。
 ・連結財務諸表については監査法人のレビュー(年度は「監査」)の対象外です。

(2) 単体経営成績 (累計)

	当第2四半期累計期間 (2025年1月～2025年6月)		前第2四半期累計期間 (2024年1月～2024年6月)		増 減	
	金額	取扱高利益率	金額	取扱高利益率	増減額	増減率
取 扱 高 ※	74,708	－	73,588	－	+1,119	+1.5%
売上収益 ※	20,516	－	20,114	－	+401	+2.0%
営業利益	2,386	3.2%	2,118	2.9%	+268	+12.7%
経常利益	2,596	3.5%	2,171	3.0%	+424	+19.5%
四半期純利益	1,816	2.4%	1,524	2.1%	+291	+19.1%

※当社は、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第 29 号 2020 年 3 月 31 日)等を適用していますが、当該基準適用前(旧基準)での売上高に相当する金額を「取扱高」、当該基準適用後の売上高に相当する金額を「売上収益」として表示しています。

2. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2025年1月1日～2025年6月30日）は、繊維関連は資材分野は苦戦しましたが、スポーツ衣料用途が順調に推移し、化学品・化成品はアジア市場を中心に販売が拡大しました。この結果、当社の経営成績は、取扱高は79,934百万円（前年同期比1,669百万円増、2.1%の増収）、売上収益は33,908百万円（同1,674百万円増、5.2%の増収）、営業利益は3,042百万円（同298百万円増、10.9%の増益）、経常利益は3,327百万円（同538百万円増、19.3%の増益）、四半期純利益は2,302百万円（同367百万円増、19.0%の増益）となりました。

セグメント別は以下の通りです。

以下＜ ＞の中の名称は(株)クラレの商標です。

【繊維関連】 （増収増益）

取扱高は21,488百万円（前年同期比753百万円増、3.6%の増収）、売上収益は15,809百万円（同223百万円増、1.4%の増収）、営業利益は1,314百万円（同261百万円増、24.8%の増益）となりました。

(衣料分野)

- 製品販売は、スポーツ衣料を中心に堅調に推移しました。
- スポーツ用途は、国内および中国でのスポーツアパレル・アウトドア向け販売が順調に拡大し、増収増益となりました。
- ユニフォーム用途は、白衣や介護のヘルスケア分野は堅調でしたが、学校体育衣料は在庫調整の影響を受け減収となりました。

以上の結果、衣料分野は増収増益となりました。

(資材分野)

- メディカル用途は販売はほぼ前年並みでしたが、コストアップで減益となりました。その他資材関連は、不織布用途等が販売増となりましたが、中国向け原糸販売が苦戦しました。
- 人工皮革〈クラリーノ〉は、自動車車両用途が顧客の生産調整により減収減益となりました。

以上の結果、資材分野は増収ながら減益となりました。

【化学品・化成品関連】 （増収減益）

取扱高は53,910百万円（前年同期比352百万円増、0.7%の増収）、売上収益は16,114百万円（同1,231百万円増、8.3%の増収）、営業利益は1,566百万円（同17百万円減、1.1%の減益）となりました。

- アジア市場を中心に販売が拡大しましたが、輸入品販売が交易条件悪化の影響を受け、利益は前年同期並みとなりました。
- 付加価値加工製品である超低硬度のエラストマー成形材料〈クライン〉は、本年6月、岡山工場内の新規設備が予定通り稼働を開始しました。

【その他（環境資材、機能製品、ベルト製品）】 （増収増益）

取扱高は4,536百万円（前年同期比564百万円増、14.2%の増収）、売上収益は1,986百万円（同221百万円増、12.5%の増収）、営業利益は162百万円（同55百万円増、51.0%の増益）となりました。

- 水処理用活性炭や工業用ベルト等の販売が増加しました。

(2) 2025 年 12 月期の連結業績予想(2025 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日)

期後半もコストや物流費の上昇等の影響が続く上に、米国の関税政策の影響等による世界的な景気減速の強まりが懸念されます。PASSION2026 の戦略に従って引き続き収益の拡大に努めますが、通期の業績については下表のとおり取扱高を年初公表から下方修正します。

(億円)

	取扱高	売上収益	営業利益	経常利益	当期純利益
年初公表 (2025 年 2 月 20 日)	1,650	700	65	65	44
今回公表	1,620	700	65	65	44

<注記> 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なることがあります。

以 上